

授業科目名 <英訳>	臨床研究開発コロキウム Seminar on Clinical Psychology			担当者氏名	教育学研究科 教授 桑原 知子	教育学研究科 教授 皆藤 章	教育学研究科 教授 松木 邦裕	教育学研究科 教授 岡野 憲一郎	こころの未来研究センター 教授 河合 俊雄	教育学研究科 准教授 田中 康裕	教育学研究科 准教授 大山 泰宏	教育学研究科 准教授 高橋 靖恵	教育学研究科 准教授 松下 姫歌	人文科学研究所 准教授 立木 康介
	配当学年	院	単位数		4	開講期	通年	曜時限	金5	授業形態	課題演習			
共用科目														
【授業の概要・目的】														
<p>心理臨床学における多様な領域について、領域別に課題を設定し、その課題をめぐって実践・研究を行うことを通して、心理臨床を多面的にみる目と臨床実践感覚を養成する。その際、臨床現場の実際に直結した諸問題について、臨床心理学の観点を中心に、人格、発達、教育、認知、学習心理学等の観点も含め、心に向き合っていくための総合的な視座を研究・探究することをめざす。</p> <p>領域とは、「小児科における心理臨床」「描画法の心理臨床」「箱庭療法」「遺伝カウンセリング」「学校臨床」「夢の心理臨床」「心身症」「老人の心理臨床」といったものである。</p>														
【授業計画と内容】														
<p>各領域でプロジェクト研究が行われる。心理臨床の多様な実践に関するアクチュアルなテーマに関して、参加者が自ら問題意識をもち、フィールドとの接触、方法の設定、考察等グループプロジェクト研究として探究する。</p> <p>授業参加者は各領域の研究班のいずれか(重複可)に所属し、担当教員の指導のもと年間の研究計画を立て、それに従って研究をおこなっていく。</p> <p>場合によっては学外からのゲストを招き、講演やシンポジウム、カンファレンス等をおこなうこともある。このようにプロジェクト研究の全体をデザインすることは体験する。</p>														
【履修要件】														
心理臨床に関する一定の知識と技能、および倫理的責務に対する意識が必要である。														
【成績評価の方法・基準】														
各領域における実践・研究をどのように推進したか、その過程や結果をもとに総合的に判断する。														
【教科書】														
授業中に指示する														
【参考書等】														
(参考書) 授業中に紹介する														
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))														
日本臨床心理士会の定める臨床心理士の倫理規定、および、日本心理臨床学会の定める心理臨床学 研究の倫理規定を遵守すること。														
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。														